


小松ウオール工業（7949）

担当 織田真由美

レーティング：**OUTPERFORM** (2023/8/9) → **NEUTRAL**

- ※ オフィスや文化施設、宴会場などで使用される間仕切市場で業界トップシェア
- ※ 業績堅調、株主還元方針に「純資産配当率（DOE）下限 3%」
- ※ 株価上昇で配当利回り 3.5%に低下、バリュエーションも妥当な水準に

	売上高 (百万円)	伸び率 (%)	営業利益 (百万円)	伸び率 (%)	経常利益 (百万円)	伸び率 (%)	純利益 (百万円)	伸び率 (%)	EPS (円)	1株配 (円)
単 20/3	37,487	+8.2	3,745	+22.9	3,769	+22.7	2,580	+25.9	279.57	85.00
単 21/3	33,565	-10.5	2,348	-37.3	2,412	-36.0	1,620	-37.2	175.11	85.00
単 22/3	34,541	+2.9	1,780	-24.2	1,847	-23.4	1,240	-23.4	133.76	85.00
単 23/3	37,772	+9.4	2,306	+29.6	2,363	+27.9	1,627	+31.2	175.28	95.00
単 24/3(会社予)	41,500	+9.9	3,400	+47.4	3,470	+46.8	2,320	+42.5	249.44	120.00
単 24/3(今村予)	43,500	+15.2	3,800	+64.8	3,900	+65.0	2,700	+65.9	290.00	120.00
第3四半期累計期間										
単 22/4-12	26,122	+5.9	1,063	+15.9	1,108	+14.0	722	+15.9	77.83	-
単 23/4-12	31,358	+20.0	2,605	145.1	2,688	+142.5	1,850	+156.1	198.82	-
株価(2024/1/26)			3,440	円						
発行済み株式数(23/12末)			10,903	千株						
自己株式数(23/12末)			1,580	千株						
時価総額			37,725	百万円						
企業価値(EV)			22,341	百万円						
ROE(23/3実績)			4.5	%						
予想配当利回り(24/3今村予)			3.5	%						
予想PER(24/3今村予)			11.9	倍						
BPS(23/3実績)			3,900.42	円						
PBR			0.9	倍						
CFPS(23/3実績)			180.5	円						
PCFR			19.1	倍						
EV/EBITDA(23/3実績)			1.0	倍						



株価チャート(週足)

出所: 小松ウオール工業、ブルームバーグ、今村証券

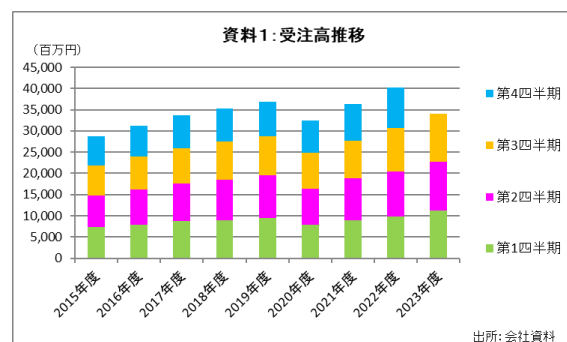
※ 会社概要…オフィスや文化施設、宴会場などで使用される間仕切大手

「設計指定活動」と呼ばれる設計事務所等への営業活動を展開し、新築物件の設計段階からの受注に注力。受注から設計、製造、販売、施工、サービスまでの「自社一貫システム」も特徴だ。高さ 23m の超大型移動壁の納入実績があるなど大型の間仕切に強みがある。

※ 業績…好調

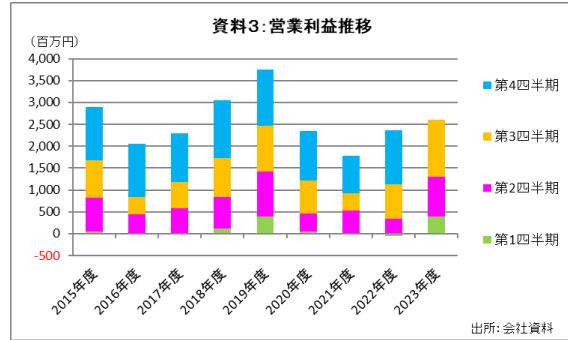
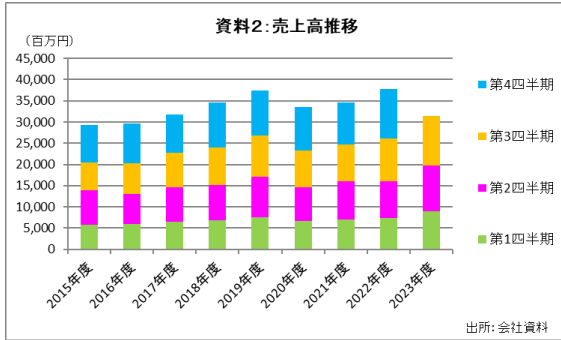
2024年3月期第3四半期決算は増収増益。オフィス向けが順調に伸びているほか、福祉・厚生施設、学校・体育施設、工場などの用途でも受注が好調で、受注高は前年同期比 10.9% 増の 340 億 60 百万円と拡大した。売上高は同 20.0% 増の 313 億 58 百万円と第3四半期累計期間としては過去最高となり、受注残高は 192 億 48 百万円と高水準を維持している。

利益については販売価格の適正化が浸透したことで売上総利益率が前年同期に比べて



1.8ポイント改善の33.8%となり、大幅な増益となった。

会社は建設業界の人手不足や景気動向に不透明さがあるとして通期業績予想を据え置いているものの、同社は第4四半期会計期間に利益が偏る傾向があることを考えると、通期業績には上方修正が期待される。今村証券では今期の営業利益は会社予想を4億円程度上ぶれると予想、純利益は過去最高益更新を予想する。



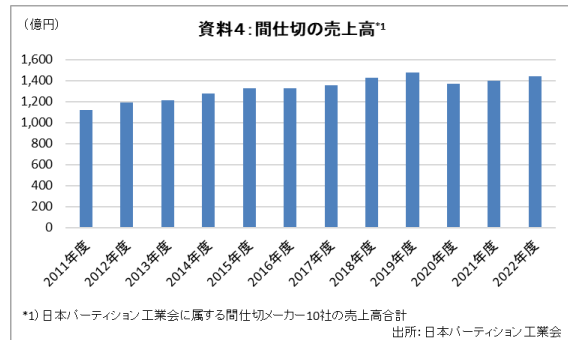
※ 市場環境と強み

市場は、コロナ禍などの影響を受けつつも拡大傾向だ（資料4参照）。殊に同社は壁面化粧パネルや外壁用途の移動間仕切など新たな市場を創出することでシェアを拡大してきた。

強みは「自社一貫システム」だ。これにより、受注から設計、製造、販売、施工、サービスまで自社で対応することができ、少量多品種生産に対応、オーダーメイド品を短納期で設計・製造できることが強みとなっている。

殊に高さ10メートル超の大型の移動間仕切のシェアは7割とも言われ、同社の独壇場だ。

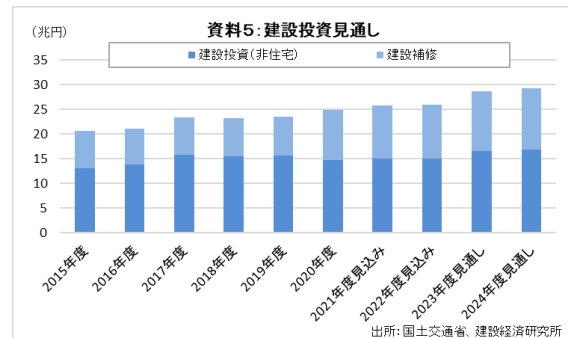
移動間仕切は昇降やスライド、収納時などでのスムーズな動きに加え、安全性が求められるだけに納入実績のある同社は他社の追随を許さない状況だ。新規のビル建設のみならず、ホテルやホールなどのリニューアル工事でも需要があり、近年では外壁用途での採用も増加している。オーダーメイド品が多いことから高い利益率が維持されやすいうえ、トイレブースなどとのクロスセルにつながられている。



※ 来期業績予想と投資判断

2024年問題など建設業界を取り巻く環境には不透明感もあるが、大都市圏の再開発などにより建設投資は堅調に推移するとみられる（資料5参照）。これを受けて同社業績も堅調に推移しよう。来期業績については、売上高は今村証券による今期予想比3%増収の450億円、営業利益39億円、EPS300円を予想する。

株価は決算発表後に急騰し、上場来高値を更新した。強固な強みを持つことで堅調な業績が期待できることや安定した配当は魅力的だが、株価上昇によって配当利回りが3.5%に低下し、バリュエーションが妥当な水準にあることで投資判断をNEUTRALに引き下げる。



アナリストによる証明

本資料に示された見解は、言及されている発行会社とその発行会社等の有価証券について、各アナリストの個人的見解を正確に反映しており、さらに、アナリストは本資料に特定の推奨または見解を掲載したことに対して、いかなる報酬も受け取っておらず、今後も受け取らないことを認めます。

レーティングの定義

OUTPERFORM：今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンを10%超上回ると予想される。

NEUTRAL：今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンの+10%と-10%の間に入ると予想される。

UNDERPERFORM：今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンを10%超下回ると予想される。

トータルリターン：株価変動率+配当利回り

目標株価は12ヶ月間の投資を想定しており、将来発行されるレポートで修正されることもあります。

本資料に記載された意見及び予想は、記載された日付における今村証券の判断であり、これらは予告なく変更される場合があります。今村証券は本資料の記載された日付以降に内容の変更・修正を行う義務を負いません。本資料はお客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の有価証券売買に関する申込または勧誘を意図するものではなく、お客様に対して投資の助言を提供するものでもありません。また、本資料に記載されている情報もしくは分析がお客様にとって適切であると表明するものでもありません。投資に関する最終決定はあくまでもお客様ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。

本資料に記載された内容は、信頼できると思われる情報、または信頼できる情報源から得た情報を基に今村証券が作成しておりますが、機械作業上データに誤りが発生する可能性があります。当社はその内容の正確性や妥当性、適時性または完全性を保証するものではありませんし、本資料における過誤又は遺漏に対して何らの責任を負うものでもありません。本資料でインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、当社自身のアドレスが記載されている場合を除き、アドレス等の内容について当社は一切責任を負いません。本資料は、当然にお客様の投資結果を保証するものではありませんので、今村証券は、本資料の内容について第三者のいかなる損害賠償の責任を負うものでもありませんし、お客様が本資料に依拠した結果としてお客様が被った損害または損失については一切責任を負いません。また、今村証券は本資料に関するお客様からのご質問やご意見に対して、何ら対応する責任を負うものではありません。

当社および関係会社の役員は、本資料に記載された証券について、ポジションを保有している場合があります。当社および関係会社は、本資料に記載された証券、同証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買いまたは売りのポジションを有している場合があります。今後自己勘定で売買を行うことがあります。また、当社および関係会社は、本資料に記載された会社に対して、引受等の投資銀行業務、その他サービスを提供し、かつ同サービスの勧誘を行う場合があります。

日本および外国の株式・債券への投資は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより、投資元本を割り込むリスクがあります。

本資料は当社の著作物であり、著作権法により保護されております。当社の事前の承認なく、また電子的・機械的な方法を問わず、本資料の全部もしくは一部引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

今村証券の営業サービスネットワーク

本店：076-263-5111	小松支店：0761-23-1525
弥生支店：076-242-2122	加賀支店：0761-73-3133
七尾支店：0767-52-3122	富山支店：076-432-2131
高岡支店：0766-26-1770	砺波支店：0763-33-2131
福井支店：0776-22-6644	板垣支店：0776-34-6996
敦賀支店：0770-25-3387	

株式、債券、投資信託の手数料等およびリスクについて

- 国内株式等の売買取引には、約定金額に対して最大 1.201750% (税込) (1.201750% に相当する金額が 2,612 円未満の場合は 2,612 円 (税込)) の委託手数料をご負担いただきます。
- 国内株式等を募集等によりご購入いただく場合は購入対価のみのお支払いとなります。
- 国内株式等は、株価など売買価格の変動により損失が生じるおそれがあります。
- 外国株式 (外国 ETF、外国預託証券を含む) の外国金融商品市場等における委託取引にあたっては、売買金額 (約定金額に外国金融商品市場における手数料と税金等を購入の場合には加え、売却の場合は差し引いた額) に対し、最大 0.990% (税込) の国内取次手数料をいただきます。外国金融商品市場での取引にかかる手数料、税金等は国 (市場) により異なります。
- 外国株式の国内店頭取引にあたっては、取引価格に取引の実行に必要なコストが含まれているため、別途手数料は必要ありません。
- 外国株式 (外国 ETF、外国預託証券を含む) の売買、配当金等の受取り等にあたり、円貨と外貨を交換する際は、外国為替市場の動向をふまえて今村証券が決定した為替レートを用います。
- 債券を募集・売出し等によってご購入いただく場合は、購入対価のみのお支払いとなります。
- 債券は、市場の金利水準の変動等により債券の価格が変動しますので、損失が生じるおそれがあります。さらに外国債券は、為替相場の変動等により元本損失を生じる場合があります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本損失を生じる場合があります。
- 投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資 1 単位当りの価値が変動します。したがって、お客さまのご投資された金額を下回ることもあります。
- 投資信託にご投資いただくお客様には、銘柄毎に設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費等をご負担いただきます。
- 株式、債券および投資信託のリスクにつきましては、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面やお客様向け資料をよくお読みください。

今村証券株式会社

金融商品取引業者 北陸財務局長 (金商) 第 3 号

日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会加入

e_suishin_202306